

# 「令和」新時代とともにさらなる発展を目指して

2月の政府経済報告は、「景気は緩やかに回復している」とし、又、先行きについても「雇用・所得環境の改善が続くなかで、緩やかな回復が続くことが期待される」としながらも、「中国経済の先行き、金融資本市場の変動の影響に留意する必要がある」との判断を示している。

本市の経済情勢については、3月市議会の市長提案説明では「大型小売店舗の販売、新設住宅着工戸数等の動向に弱い動きがあること

から、今後も地域経済の実態に目を配り、又、国の動向を注視しながら適切な対応に努める」とし、又、雇用情勢については、「有効求人倍率が高い水準で推移しており、事業所における人材確保への影響が心配される」としている。当会議所の景況調査(平成30年

10月から12月期)では業況、売上げ、採算及び資金繰りは横這い状態が続いており、当会議所の会員動向では、高齢化による小規模事業所の廃業が引き続き続いている。又、働き方改革、外国人労働者の受入拡大など、これからの企業経営・企業戦略に大きな影響を及ぼす変革がなされ、加えて、本年10月からは消費税の引上げが実施されることから、これらへの適切な対応に苦慮する会員事業所も多い状況にある。

一方、平成30年12月末の本市人口は127,168人、この1年間の出生者は759人、死亡者は1,804人、転入者は2,610人、転出者は2,887人であり、前年末に比較し、1,384人の減少となっている。

政府及び鶴岡市においては、企業・事業所へのきめ細かい情報提供及び適切な対応を図るための支援施策の充実を図るとともに、消費税の引上げによる景気停滞を生じさせないよう、実効性のある経済対策を推進されることを望むところである。

また、今後の地域における経済動向等を注視しつつ、補助事業及び平成30年度からの繰越財源を活用し、産業振興、会員交流等に係る事業の追加を想定しているところである。



会員事業所の事業継続、新たな事業展開や新規創業に資するため、きめ細かい支援に努めてきた。平成31年度においても、これを基本方針とし、現下の産業・経済の情勢、国、県及び市の施策の動向、これまで当会議所が行ってきた事業の成果及び課題などを踏まえた事業を展開することとする。なお、事業の着実な推進に向けて、鶴岡市を始めとする関係機関との連携強化、政策提言・要望活動の強化とともに、事務局体制及び財政基盤の強化に努

める所存である。また、今後の地域における経済動向等を注視しつつ、補助事業及び平成30年度からの繰越財源を活用し、産業振興、会員交流等に係る事業の追加を想定しているところである。本年は、天皇陛下の譲位と皇太子殿下の即位・改元がなされ、又、鶴岡商工会議所においては、創立から90年という節目の年ともなり、11月には改選による新しい役員・議員体制が構築される。

## 事業計画

### 1 基本戦略の推進

- (1) 先端性・伝統に基づく競争力のある企業の育成
  - ① 技術者ネットワークの強化
  - ② つるおか大産業まつり及び江戸川区産業ときめきフェアへの出展
  - ③ ビジネスマッチ東北等への会員事業所出展への支援
- (2) 魅力ある商店の育成と中心商店街の賑わいづくり
  - ① 鶴岡TMO事業の推進
  - ② 第二期中心市街地活性化基本計画に基づく事業の推進
- (3) 「自然」「歴史」「文化」をテーマとした観光の推進
  - ① まちなか観光の推進
  - ② 庄内・新潟DCと連携した旅行商品の企画及び誘客活動の展開
  - ③ 東南アジア等における観光誘客活動への参加(新規)
  - ④ DMO(地域全体の観光マネジメントを一本化する着地型観光のプラットフォーム組織)の設立への参画(新規)
- (4) 若者の地元就職の促進と意欲ある事業所の取組みを支える人材の育成
  - ① 鶴岡地区雇用対策協議会との連携による地元就職の促進
  - ② 鶴岡高専等の学生及び首都圏進学者に対する情報提供の拡充
  - ③ 会員事業所における人材確保・人材育成への支援
- (5) 地域活性化のための社会基盤の整備と推進策の見直し
  - ① 高速交通網の早期整備に向けたシンポジウムの開催
  - ② 庄内空港の機能拡充に向けた研修会等の開催
  - ③ 社会基盤整備に向けた活動への参加

### 2 重点事業の推進

- (1) ライフサイエンス・バイオテクノロジーの振興
  - ① 高等教育研究機関及び研究成果に基づく企業との情報交換会の開催
- (2) 地域の優れた製品・農林水産物等の販売、観光客の誘致に向けた海外戦略の展開
  - ① 海外展開に係るセミナーの開催
  - ② 東南アジア等における観光誘客活動への参加(再掲)
- (3) 「食文化」による地域・企業の活性化に向けた戦略の展開
  - ① 食のブランド化及び加工食品等の開発・販路開拓に係るセミナーの開催
  - ② 「出羽三山詣で・食と銘酒で語らう旅」プロジェクトの推進(再掲)
- (4) 内川沿いの地域の高度利用に向けた再開発
  - ① まちなか居住、高度利用及び景観形成に向けた調査研究
  - ② 鶴岡公園の城址公園としての整備及び活用に向けた調査研究(新規)
- (5) 人的交流の活性化、鶴岡の認知度・存在感を高めるためのコンベンション・イベントの開催
  - ① 地域活性化に資するキーパーソンの招致及び意見交換
  - ② 鶴岡市にゆかりのある商工会議所との交流
  - ③ 鶴岡商工会議所創立90周年に係る記念式典・記念事業の開催(新規)
  - ④ 東北六県商工会議所連合会総会開催への協力(新規)



会員企業従業者表彰



お雛様めぐり



グルメウォーク



市への要望書提出

23人、大学14人に止まっている。このように鶴岡市においては、出生数の低下、若年層の流出による人口減少に歯止めが掛からず、地域経済の停滞感・不透明感を払しょくできない状況下であり、加えて、当会議所の景況調査では、全ての業種で「従業員の確保難」が挙げられ、又、今後の設備投資・生産計画に支障を来している会員事業所もあるなど、事態は深刻さを増している。

人口減少による影響は、経済・産業分野での人材確保に留まらず、地域経済の縮小、首都圏等との格差拡大、都市機能の衰退などを招きかねないものであり、人口減少の抑制と地域の活性化は喫緊の課題である。当会議所では、平成27年に策定した中期行動計画に掲げる「鶴岡・庄内の資源、可能性、総合力に基づく産業の振興・地域の活性化」に向けて、基本戦略、重点事業、中小企業の支援強化及び推進体制の整備・会議所機能の強化を柱として、各種事業を展開してきた。又、平成28年に策定した経営発達支援計画に基づき、厳しい経営環境下における

新たな時代を明るく展望を持って歩むことができるように、鶴岡商工会議所も、この地域の総合的経済団体として、鶴岡・庄内の人口減少抑制と地域の振興・活性化という大きな課題に意欲的に取り組むとともに、会員事業所及び市民に、よりお役に立つ商工会議所を目指す所存である。

### 3 中小企業の支援強化

- (1) 経済動向、需要開拓に関する調査及び情報提供
- ① 各種動向の調査及び成功事例等の情報の収集・提供
  - ② 消費税引上げ及びこれに関する経済対策の研修会の開催
- (2) 経営分析・事業計画策定に係る支援
- ① 経営分析・経営計画の策定に資するセミナーの開催
  - ② 創業、事業発展、事業承継に資するセミナーの開催
  - ③ 事業計画策定後のフォローアップ
- (3) 需要・販路開拓に係る支援
- ① 需要・販路開拓に資するセミナーの開催
  - ② つるおか大産業まつり及び江戸川区産業ときめきフェアへの出展(再掲)
  - ③ ビジネスマッチ東北等への出展(再掲)
- (4) 補助金・融資制度の活用支援
- ① がんばる中小企業応援セミナーの開催
  - ② 持続化補助金、やまがたチャレンジ創業助成金等の活用支援
  - ③ 経営改善資金等各種融資制度の活用支援
- (5) 経営指導員等による指導・相談
- ① 経営指導員による巡回・窓口指導
  - ② 移動商工会議所の開催
  - ③ 専門相談員、鶴岡ビジネス応援隊等による個別指導
  - ④ 経営安定特別相談
  - ⑤ 記帳及び決算の指導

### 4 推進体制の整備及び会議所機能の強化

- (1) 推進体制の整備
- ① 鶴岡観光協会、鶴岡市観光ガイド協議会等の事務局の受託
  - ② 産業振興センターへの職員派遣及び共催事業の拡充
  - ③ 経営支援関係機関及び専門相談員等との連携強化
- (2) 会議所機能の強化
- ① 当会議所の役員及び議員の改選
  - ② 会員増強活動の推進
  - ③ 中期行動計画の推進に係る委員会活動の活性化
  - ④ 部会活動及び青年部・女性会活動の活性化
  - ⑤ 会員事業所に対するサービスの拡充
  - ⑥ 政策提言・要望活動の強化
  - ⑦ 財政基盤・事務局体制の強化



会員のつどい

### 令和元年度 鶴岡商工会議所 総括収支予算

(単位/千円)	
収入	
会費	46,056
事業収入	92,135
補助金	54,059
その他	2,999
繰越金	3,500
計	198,749
基金繰越金	76,478
特定退職金共済	168,000
合計	443,227
支出	
人件費	83,610
管理費	12,188
事務費	11,982
事業費	47,240
その他	12,892
借入金返済	23,787
予備費	2,000
計	193,699
基金積立金	81,528
特定退職金共済	168,000
合計	443,227

### 定例常議員会報告

#### 2月

- 報告事項
  - (1) 12月～2月の各種会議報告
  - (2) 議員の職務を行う者の変更について
  - (3) 新年祝賀会・講演会・交流会開催報告
  - (4) 管内の10月～12月期景況調査集計結果について
  - (5) 各部会開催報告と平成31年度当所事業に係る各部会からの意見・要望について
- 協議事項
  - (1) 新会員の承認について
  - (2) 3月通常議員総会について
- ゲストスピーチ
  - 演題：「ANA@deskのご紹介について」
  - 講師：全日本空輸(株) 販売事業本部庄内支店マネージャー 勝田直浩氏

#### 3月

- 報告事項
  - (1) 2月～3月の各種会議報告
  - (2) 総務委員会開催報告
  - (3) 企業活性化委員会開催報告
  - (4) 地域活性化委員会開催報告
  - (5) 雇用・人材育成委員会開催報告
  - (6) 社会基盤整備委員会開催報告
  - (7) 日本商工会議所の役員・議員表彰について
- 協議事項
  - (1) 3月通常議員総会に付議する事項
    - ① 平成30年度本所各会計収支補正予算(案)について
    - ② 平成31年度本所事業計画(案)について
    - ③ 平成31年度本所各会計収支予算(案)について
    - ④ 平成31年度本所借入金の最高限度額(案)について
    - ⑤ 議員及び役員を選任について
  - (2) 3号議員の選任について

### 老舗紹介

創業百周年  
株式会社

### 荘内機械商会



地が整備されはじめ、製造工場が使われる機械部品販売の仕事が増え、その時期から3代目として会社を引継ぎ、平成18年にはその後の展開を見据え現在の宝田3丁目に店舗兼工場を移転しました。現在は部品の豊富なラインナップや、廃番となった部品の修理など、製造業の皆さんの駆け込み倉庫としてご利用いただいています。

**基本理念・目標について**  
当社がこの100年間、鶴岡の産業の変遷と共に歩んでくることが出来たのは、『三方よし(買い手よし、売り手よし、世間よし)』を基本理念とし、永く守ってきたからだと思います。これからも、企業の皆さんのサポートとして支え続けて参ります。普段、皆さんが手にされている商品が、安心・安全の為にどのような努力のもとで作られているかを承知する立場だからこそ、高品質の商品を世により多く送り出していただけるよう、企業の皆さん、地元へ貢献していく事が今後の更なる目標です。

創業当時について

当社は今からちょうど100年前、大正8年4月に本町1丁目で開催しました。仕事内容は今と違い、当時市内に多くあった絹織物工場が使われていた電動部品の販売修理をしていました。その後はラジオや電話の普及に伴い、その販売修理も行うようになりまし。湯野浜・温海・湯田川温泉の各旅館が主なお客様だったと聞いています。続いて農業の機械化が進んだことで、農家の方々をお取引先として農機具モーターの修販売理などが主な仕事となりました。

現在のお仕事

お客様のニーズに  
応え続ける  
縁の下の力持ち!



代表取締役社長 丸谷 良夫 さん  
株式会社 荘内機械商会  
鶴岡市宝田3丁目2-30 TEL.0235-22-0333

3月28日通常議員総会が東京第一ホテル鶴岡で開かれ、2019年度の事業計画や各会計の収支予算、役員選任など計10議案を原案通り承認しました。

- 協議事項
- 議案第1号 平成30年度本所一般会計収支補正予算(案)について
  - 議案第2号 平成30年度本所中小企業経営支援特別会計収支補正予算(案)について
  - 議案第3号 平成30年度本所共済事業特別会計収支補正予算(案)について
  - 議案第4号 平成31年度本所事業計画(案)について
  - 議案第5号 平成31年度本所一般会計収支予算(案)について
  - 議案第6号 平成31年度本所中小企業経営支援特別会計収支予算(案)について
  - 議案第7号 平成31年度本所共済事業特別会計収支予算(案)について
  - 議案第8号 平成31年度本所財政調整基金特別会計収支予算(案)について
  - 議案第9号 平成31年度本所借入金の最高限度額(案)について
  - 議案第10号 役員を選任について
- 常議員/畑田 一志氏〔(有)畑田鐵工所〕  
常議員/田村 優氏〔(株)荘内銀行〕  
監 事/今田 安彦氏〔(株)きらやか銀行鶴岡中央支店〕

■ゲストスピーチ  
講師/庄内労働基準監督署 署長 齋藤 剛光氏  
テーマ/「働き方改革について」



(株)佐藤組 佐藤友行氏(30年)

議員総会にて、  
日本商工会議所の  
役員永年表彰が  
行われました。

### 3月 通常議員総会報告

今年度もよろしくお願ひいたします  
令和元年度 鶴岡商工会議所

### 職員紹介

事務理事  
兼 事務局長

加藤 淳一

事務局次長

寒河江 澄

総務企画課

課長	七森 玲子	総務係 主事	佐藤 果林
総務係 係長	三浦 千博	企画係 係長	小杉 良輔
総務係 主任	中村 映子	企画係 主任 補助員	森村 雄一郎
総務係 主事	進藤 孝子	企画係 主事	後藤 富実

経営支援課

課長 経営指導員	寒河江 澄	経営支援係 主事 記帳専任職員	齋藤 豪介
課長補佐 経営指導員	川村 広宣	経営支援係 主事 補助員	澤田 京子
経営支援係 係長 経営指導員	丸山 奈美	事業係 係長 経営指導員	森村 とも子
経営支援係 主事 記帳専任職員	齋藤 智哉	事業係 主事 経営指導員	相田 涼